

## 平成 22 年度事業報告

平成 22 年度の事業(平成 22 年 4 月 1 日から 23 年 3 月 31 日)

### 1. 知識普及・啓発活動事業

#### (1) 運営委員会の開催

①4 月 5 日 ②7 月 5 日 ③10 月 4 日 ④1 月 24 日

#### (2) 機関誌「すこやかハート」の発行

①109 号(2010 年 6 月)カラー 8 頁・3,000 部

②110 号(2010 年 10 月)カラー 8 頁・3,000 部

③111 号(2011 年 2 月)カラー20 頁・3,000 部

#### (3) 講演会等

##### ①健康講座・料理実習

「タウリンで心臓を元気にしませんか!～道産ホタテを使っておいしい料理を～」

・主催:北海道心臓協会、北海道新聞社

・日時:9 月 11 日(土)10:00～14:00、35 人参加、うち男性 7 人

(応募 38 人、うち男性 8 人)

・光塩学園女子短期大学料理実習室(札幌市南区真駒内上町 3)

・講師 藤本真奈美氏(光塩学園女子短期大学教授)、佐藤恵氏(同助教)、木野村美花氏(同助手)

##### ②北海道心臓協会市民フォーラム 2010「願いは健やかハート」

・主催:北海道心臓協会、北海道新聞社

・後援:北海道、北海道医師会、札幌市医師会、北海道国民健康保険団体連合会、  
北海道看護協会、北海道薬剤師会、北海道栄養士会

・協賛:アステラス製薬(株)、MSD(株)、第一三共(株)、武田薬品工業(株)、日本ベーリン  
ガーインゲルハイム(株)、ノバルティスファーマ(株)、ファイザー(株)

・日時:10 月 30 日(土)、約 500 人参加

・場所:道新ホール(札幌市中央区大通西 3)

I. 健康相談(10:30 開場、最終受付 12:15)道新ホールロビー特設コーナー

医師 4 人、看護師 2 人、栄養士、薬剤師各 1 人による循環器疾患に関する無料相談

II. 講演(13:10 開場、13:30 開演、15:40 終演)

「心臓病患者さんの健康旅行術～安全・安心のための基礎知識～」

筒井裕之氏(北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授)

「一回心臓止めてみました」

ブラザートム氏(タレント、ミュージシャン、役者、作曲家 他)

#### (4) 循環器相談業務

前掲の市民フォーラムの一環として開催、利用者 33 人。北海道大学、旭川医科大学、札幌医科大学、北海道医療センター、北海道看護協会、北海道薬剤師会、北海道栄養士会の協力を得て、専門医を軸とした総合的な相談態勢をとった。

## 2. 研究助成事業

第 21 回目を迎えた平成 22 年度の伊藤記念研究助成事業は 6 件の応募があり、予備選考及び 9 月 14 日の選考委員会により、2 名への助成金贈呈を内定した。伺書による正副理事長の決裁を得て、市民フォーラムの講演会の冒頭、各 75 万円を贈った。

## 3. 研究開発調査助成事業

8 人・8 件の応募があり、8 人・8 件、計 40 万円を助成した。報告書は機関誌「すこやかハート」に掲載。

阿部 史氏 (北海道循環器病院 理学療法士=第 16 回日本心臓リハビリテーション学会)

韓 萌氏 (札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 大学院生=第 23 回日本循環器病予防セミナー)

菅 唯志氏 (北海道大学大学院循環病態内科学 博士課程大学院生=第 65 回日本体力医学会)

高田 真吾氏 (北海道大学大学院循環病態内科学 博士課程大学院生=第 65 回日本体力医学会)

野澤 篤史氏 (北海道大学大学院循環病態内科学 大学院生=アメリカ心臓協会年次学術総会)

石川 聡子氏 (札幌医科大学内科学第二講座 研究員=アメリカ心臓協会年次学術総会)

高田 明典氏 (札幌医科大学内科学第二講座 大学院生=アメリカ心臓協会年次学術総会)

近藤 淳氏 (JR 札幌病院・理学療法士=第 17 回日本心臓リハビリテーション学会)

## 4. 健康増進対策事業

ホームページに機関誌「すこやかハート」の内容だけでなく、健康講座、各種催しの案内、研究助成事業、研究開発調査助成事業の募集要項等も掲載し、メールによる問い合わせや応募用紙のダウンロードができる仕組みにしている。メールによる健康相談も継続している。

## 5. 関係団体との交流

第 103 回日本循環器学会北海道地方会市民フォーラム「心臓救急：現場からの提言」への後援を行った。結核予防会北海道支部の複十字シール募金運動へ協力を行った。